国立音楽院宮城キャンパス・ヴァイオリン＜製作＞・＜修理＞ コースと《ヴァイオリン職人》職業紹介

国立音楽院宮城キャンパス　ヴァイオリン製作科

【日本で数少ない、《ヴァイオリン職人》育成学科を有する音楽校】

- ❑《国立音楽院》は2020年現在、「ヴァイオリン職人育成学科」を有する日本唯一の音楽校です。
  宮城キャンパスヴァイオリン製作・修理コースでは全国各地より多くの学生が集まり技術者を目指し学んでいます。

- ❑音楽（理論・演奏）を学びながら職人技能を身に着ける事の出来る【オープンシラバス制】も当校の特徴の一つです。

- ❑演奏技術は音調整の仕事で必要となります。熟達した技術は必要ありませんが、基礎技術の取得は必須です。
  （※宮城キャンパスでは初心者向け指導に慣れた【バッハホール音楽院】の講師による指導を受講できます。）

◇《ヴァイオリン職人》ってどんな職業？

- 製作
- 修復
- 音調整
- 選定・販売
- 修理

※　楽器製作だけに留まらない、幅広い仕事内容

ヴァイオリン職人の仕事の魅力、やりがいとは

❑製作から、修理修復、また調整へと多岐にわたる仕事。【管楽器リペアラー、ピアノ調律士との違いの一つ。】

【製作】・・・伝統を感じながら自身オリジナリティ溢れる楽器をつくる。
手工の伝統が今なお残る貴重な ＜ものづくり＞ の仕事

【修理・修復】・・・破損した楽器を弾ける状態に戻す。歴史楽器を次世代に残していくという役割。文化財修復の仕事

【調整】・・・楽器を適切な状態に調整し演奏家に寄り添う仕事

【好きな事を仕事に】

国立音楽院は、「音楽に携わる仕事をしたい」という思いを実現させるための学びの場です。
音楽を仕事にするというと困難なイメージが付き纏いますが、楽器の製作・修理・調整の技術者としての就職先は,楽器演奏の仕事に比べると選択肢が比較的多くなります。
（※2020年8月現在、コロナ禍においても、宮城キャンパスヴァイオリン製作科における全学年在籍生徒数を大きく上回る求人が当キャンパスへ集まっています。）
躊躇している方は、好きな音楽を仕事にするために思い切って一歩踏み出すことをおすすめいたします。

《音楽と関わる仕事》《演奏家をサポートする仕事》《モノづくりの仕事》として魅力ある仕事

◆ヴァイオリン職人の仕事とは？

楽器製作の仕事

ヴァイオリン製作には120もの工程があり、使用する道具は30種類以上。
0.1ミリ単位で進む繊細な作業、長い時間をかけて黙々と一つの楽器を作り上げる様子は、まさに職人技。
数百年受け継がれ、伝統美と自然美、楽器としての高い機能性も兼ね備えたヴァイオリン。それはまさに《ものづくり》の極致といえます。

音調整の仕事

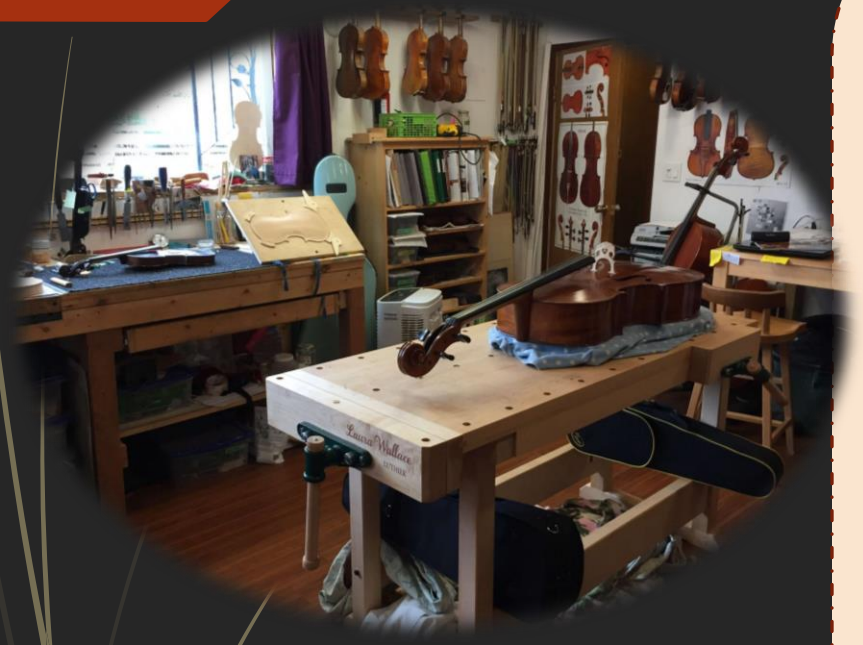
ヴァイオリン職人の仕事は《演奏家のサポート》にも及びます。
楽器を最良の状態に調整し、「演奏家に寄り添う仕事」も重要な仕事の一つ。ピアノ調律師のイメージに近いかもしれません。

楽器修復の仕事

ヴァイオリンは適切な修復を行われれば数百年現役で音を奏でれる楽器。
一流の演奏家に使用されている＜ストラディヴァリウス＞もおよそ300年前の楽器です。
数百年前の楽器を修復し、再び魂を吹き込むのもヴァイオリン職人の仕事です。

それぞれの仕事内容への《適性》の見極めも進路を決定するにあたり重要となります。宮城キャンパス・ヴァイオリン製作科の指導ポリシーは＜3年の履修期間＞で出来るだけ多岐にわたる作業を経験してもらい、適性・興味を見出し進路決定に役立ててもらうことです。

【学科生の就職先として】



❏ 【弦楽器専門店】

弦楽器を主に取り扱い新作楽器やオールド楽器などを販売する。店によって扱う楽器のタイプは異なる。お客様の楽器の修理調整や、仕入れた楽器を店頭に出すための修理・修復も行う。

❏ 【総合楽器店】

弦楽器を含め、さまざまな楽器を取り扱う楽器店。（例：島村楽器・山野楽器・ヤマハなど）。音楽教室を併設しているところが多い。お客様の楽器の修理調整の他、接客、音楽教室の生徒との交流、販売促進など業務の幅は広め。

❏ 【楽器卸売業者】

海外などから楽器を仕入れ、楽器店へ卸す企業。新作楽器～オールド楽器まで多岐にわたる。仕入れてきた楽器を楽器店に卸せる状態に調整・修理するのは職人の仕事

❏ 【個人工房】

小規模の工房でお客様の楽器の修理・調整から販売、仕入れ、仕入れた楽器の修理まで行う。また工房製の楽器の製作・販売なども行う。

☑国立音楽院ヴァイオリン製作科は20年以上の歴史を誇り、多くの技術者を業界へ送り出しています。

☑宮城キャンパスではさらに立地の不便性を補うため、求人情報は特に力を入れて全国から収集。
全国の楽器店への働きかけで、情報を収集します。
（※2020.全国より今年度卒業生の数倍の【弦楽器技術者求人】が集まっています。2020年度卒業生就職決定！ ）

☑宮城Cでは少人数制を活かし定期的に個別面談を行い、卒業後の進路と現在の学習状況、学生各々の性格などを擦り合わせ、全員が最終的に各々の適性に合ったの進路につけることを目指します。

【 ヴァイオリン職人を目指す 】（ステップ①～②）

ヴァイオリン職人を職業とするまでの道筋をご説明します。

【ステップ①】

職人技術の基礎（木工の基礎技術・刃物の扱い・楽器の構造の理解・製作修理基礎）を習得

・・・　製作・修理学校入学 、弟子入り 、楽器店就職 etc

まず、専門校で上記の基礎技術を習得する事が入門としては一般的です。
楽器店に就職し一から技術を教われる会社は、現在では少なくなっているようです。
他に弟子入りという選択肢もあります。ただこちらは親方との相性が非常に重要となります。親方と一対一で「雇用関係」でもなく「学生」でもない立場での関係となるため、コミュニケーション能力とその姿勢・親方の仕事への理解と貢献を行える事は必須となるでしょう。

【ステップ②】

実践技能を習熟する。

・・・　楽器店就職 、留学 、弟子入りetc

ヴァイオリン職人の仕事は製作・修理・音調整・修復・楽器ディーリングと細かい分野に分かれます。将来的にどのような職人を目指すかによっても選択肢は少しづつ変わってくるでしょう。

まず基本的な修理の実践技能を高めたいのであれば、修理の数をこなしていける楽器店に就職するのが好ましいと考えます。より高い修復技能の修得は、そのような技能に長けた技術者のいる楽器店に入り仕事をしながら学ぶか、海外の優秀な技術者のもとで働く機会を得れれば海外の工房で学ぶという選択肢もあるかもしれません。
製作分野の技能を高めるためには、留学という選択肢もあります。理想とする楽器を製作しているメーカーの工房で学べればベストですが、ビザ・滞在許可の問題もあるため、学校への留学は必要でしょう。また製作者が必ず弟子をとっているとも限りません。
海外では日本以上にコミュニケーション能力（語学力＋コミュニケーション力）が必要とされます。

【 ヴァイオリン職人を目指す 】(ステップ③)

【よくある質問】

日本の学校で学ばず直接海外留学する事のメリット・デメリット

《メリット》

- 海外の製作学校は学費が比較的安い場合が多く、就学期間の学費が抑えられる(※ただし渡航費やアルバイトなどが難しい事・慣れない土地での生活費用を考えると大差はないかもしれません)
- 新たに学校に入り直すというステップを踏まなくてもよい。

《デメリット》

- 学校入学は人脈を作るという側面もあるため、留学後帰国して就職を探すに当たり、日本の学校での人脈が求人情報収集～紹介にあたり有利に働くことが多い。
- 海外留学して帰国した学生より、日本の学校を卒業したての＜白い＞学生の方が楽器店に好まれる傾向がある。(※楽器店毎に修理方針や手法が異なり、自身の技法があまり確立・染まっていない方が好まれるためと思われます。)
- 語学の習熟度によるが、日本で一度木工の基礎技術、製作の基礎技術を学んでいった方が渡航先での技能習得へスムーズに入りやすい。

【ステップ③】

技能の更なる向上～独立

・・・ 個人工房設立、転職(※場合による)etc

ヴァイオリン職人の世界は転職(※お店を変わる事)も少なくありません。ヴァイオリン職人の世界では基本的に業界内で求人情報が回ることが多いため、自身が高めたい技能をより実践できる職場で求人があった場合、転職するという選択肢もあるかもしれません。

また自身の技能および経営の目途が立てば個人工房設立も行えます。技能も勿論ですが、経営の知識や営業能力も必要となります。個人工房も修理中心に行う工房、製作中心に行う工房にそれぞれの重心は分かれます。さらに修理の中でも音調整に力を入れるところや修復に力を入れるところ、販売・仕入れに力を入れる工房、下請けに力を入れる工房など、それぞれ特徴も出てくるでしょう。経営に関し色々な工夫を出来る能力も必要となると思います。
勿論、個人工房を設立せずに楽器店で技術者として勤め続ける方もいらっしゃいます。(※楽器店でしか出来ない事も少なくはないでしょう)

【 国立音楽院宮城キャンパス・ヴァイオリン製作科の特色は？ 】

- 【個別面談制度】：

  職人を目指すにあたってそれぞれの適性や能力・興味によって進むべき道が異なってきます。
  宮城キャンパスは《**少人数制指導**》で定期的な個別面談により生徒各々の将来の希望や学習状況,
  自己分析～客観分析による適性などを共有・把握し、一人一人にあった指導を行う事を重要視しています。
  求人情報も立地の不便性を補うため全国各地の楽器店への働きかけで積極的に収集。
  全員がそれぞれに合った進路をとれることを目指します。

- 【製作コース】・【修理コース】の2コース

  ・**＜修理コース＞**では1年次から基礎修理の勉強を始め、時間をかけて**【就職に向けた実践力】**を身に着けます。 就職の際に必要な調整・セットアップ技術などに特に力を入れ、特別授業を行います。
  ・**＜製作コース＞**はヴィオラ・チェロの製作も（希望によっては分数・バロック楽器製作へ）。
  著名な外部製作家からもアドヴァイスをもらえます。また製作コースでも楽器のセットアップ技術～弓の毛替え等の授業は履修して頂けます。

- 修理実習ための実習楽器の充実。弦楽器リペア工房併設。現場の仕事を在学中から見る事が可能

- 外部講師の方を招いてのワークショップに力を入れています。 在学中から人脈構築も

- 【卒業考査（卒業製作）】： 宮城キャンパスでは3年次に卒業製作を行い、第一線で活躍されている製作家の方、本校講師を含め数名で審査し、ディプロマを発行して頂きます。
  修了証書は就職の際などにも客観的な技能証明となります。

- イタリア留学を考えている方へご希望により留学手続きなどのサポートも無償でいたします。
  （語学のアドバイスも）

- 就学費用・生活費の安さ。静かで落ち着いた環境で、3年間じっくり技術習得に励みます。
  学校寮（提携アパート）完備。近隣のアパートも家賃相場が低めです。

  1年次：83万　2年次：71万　3年次：71万　＋工具代　（2021年度）

  （※工具代は2022年度入学生から変更減額予定）

  技術専門校の就学費として非常におさえられた設定となっています。

《よくあるご質問》

・手先の器用さや才能は必要ですか？

ヴァイオリン職人は手先の器用さよりも、技術向上のための継続的な取り組み、
真面目さが大事となります。
楽器が好きで、楽器と向き合いたいという気持ちが特に大切になるでしょう。
黙々と一つの事に取り組む事が好きな人は向いているかもしれません。

・ヴァイオリンが弾けないとダメですか？

ヴァイオリン職人の多くは高度な演奏技術は持っていません。
最低限弾けると調整の際便利ですが、何よりも作業技術の研鑽が基礎となります。

仕事上必要な演奏技能は、当校の実技レッスンで習得していただけます。
授業・練習の際の楽器の貸出もいたします。

・年齢制限はありますか？

ほとんどありません。就職の際も今までの経歴や年齢などによる制限は比較的受けない業種です。
40代から勉強を始め一流店で修理職人をやっている職人さんも。
30台半ばから製作をはじめ、国際コンクールで優勝される方もいます。
ただ年齢が高い方は時間的に「自身の特に得意とする分野」を伸ばすことが必要になるかもしれません。

50代で早期退職し勉強を始められ、ヴァイオリン製作や木工の教室を開きながら楽器製作に励んでおられる方もいらっしゃいます。

国立音楽院宮城キャンパスヴァイオリン製作科
＜製作＞・＜修理＞コースで学ぶ内容

1年次：
ヴァイオリン製作（フォルム製作～）・刃物研ぎ・道具冶具作り・木工の基礎　・修理基礎実習　セットアップ基礎実習　・修理調整理論（専門書講読など）・ニス理論　・演奏実技　・アンサンブル実技

2年次：
【製作コース】：ヴァイオリン製作（ヴィオラ製作）・セットアップ実習（駒・魂柱・ペグ・指板etc）・ニス調合および実践（アルコール・オイル）・チェロ製作　・演奏実技　・アンサンブル実技

【修理コース】：ヴァイオリン製作（1年次の続き）・ セットアップ実習（駒・魂柱・ペグ・指板etc）・弓（毛替え）・ニス調合、実践（アルコールニス中心・リタッチ）・楽器修理実習（剥がれ、欠け修理、ペグブッシングetc）・修理調整理論（専門書講読など）・弦や小物の知識　・演奏実技　・アンサンブル実技

3年次：
【製作コース】：チェロ製作　（※希望・進度によってはヴァイオリンやヴィオラ製作に取り組む）・ニス実習（アルコールニス・オイルニス）・（弦楽器フェア展示）・卒業製作（ディプロマ発行）・（バロック楽器製作）
・セットアップ実習・弓（毛替え）・演奏実技　・アンサンブル実技

【修理コース】：・セットアップ実習（チェロ・コントラバス）・楽器修理実習（ネック上げ修理、ハーフエッジ、魂柱パッチ、表板割れ修理・ニスリタッチetc）・弓（ラッピング交換・チップ交換etc）・修理調整受付の仕方と注意点　・弦・小物の知識　・演奏実技　・アンサンブル実技

（※個々の作業進度によって内容が変化する場合があります）

宮城キャンパスヴァイオリン製作科では就職試験に課される事の多いセットアップや毛替えについて、休み期間中などに特に力を入れて集中特別授業を行っています。

◆3年間の履修期間で計画的に製作
～セットアップ・修理基礎、ヴィオラ・
チェロの製作（選択）まで学びます。

各学年のカリキュラムを細かく設定。
すべてのカリキュラムを修了した学生
に《学科修了証》を発行。

例：1年生履修表

宮城キャンパス・学科修了証システム

ヴァイオリン製作科　技術履修表（1年次）　　氏名

	項目・習得技術	作業内容	修了	成績（実技）	成績（筆記）	レポート	備考
	自己分析	レポート　（自己紹介・自己分析）				1	
1	楽器のパーツ知識・基礎メンテナ	ヴァイオリン各部の知識・見方			(テスト1)		
		弦の張り方、チューニング法					
		楽器の日常メンテナンス					
		駒の積き・位置調整					
		ペグ調整					
		魂柱立て					
2	木工基礎	F字孔プレート製作					
		駒作成（チャレンジ）					
		顎台作成					
3	塗装基礎	ニス基礎知識					
		ニス調合					
		ニス塗り前準備					
		ニス塗り					
4	工具整備基礎・刃物研ぎ	カンナ台直し					
		刃物研ぎ（平鑿、カンナ）					
		カンナ削り練習					
		刃物研ぎ（両刃ナイフ）					
		ナイフ柄製作					
5	楽器の見方、製作者の歴史	楽器製作者の歴史				2	
		楽器の見方					
6	キットヴァイオリン製作（基礎製	バフリング練習材作成～練習			(テスト2)		
		バフリング溝修正					
		バフリング曲げ					
		バフリング接着					
		縁溝仕上げ					
		スクロール修正					
7	〃（基礎修理技術）	ブロック修理					
		表板接着					
		糸巻箱修正					
		ネック入れ作業					
		ネック入れ作業付け根削り・ボタン整形				3	
		サドル製作					
		全体仕上げ					
8	〃（基礎塗装技術）	ニス理論（各素材の特性）					
		ニス下塗り					
		ニス塗り					
		ニスリタッチ・磨き・指板接着					
9	〃（セットアップ基礎）	上ナット					
		魂柱					
		ペグ仕上げ					
		駒仕上げ・音出し					
		（製作分野）					
10	ヴァイオリンモデル知識・フォル	型用著作り			(テスト3)		
		バイオリンテンプレート製作					
		バイオリン型製作					
		ブロック製材					
11	横板枠製作・構造理解	横板厚み出し					
		コーナーブロック（C字）成形					
		横板曲げ（C字）					
		横板接着用当て木づくり					
		コーナーブロック（上下バウツ）成形					
		横板曲げ（上下バウツ）					
		横板平面・高さだし					
		ライニング厚み出し					
		ライニング曲げ					
		横板コーナー部成形					
12	材料選定・ 表裏板製材	表板・裏板平面出し			(テスト4)		
		〃 接ぎ合わせ					
		〃 粗削り					
13	豆鉋整備技術	豆カンナ整備					
14	アウトライン成形・ライン見方	〃 縁厚み出し					
		〃 仮付け				4	
		〃 アウトラインヤスリ掛け用治具製作					
		〃 アウトライン成形					
		（修理・調整分野・ニス分野）					
17	修理の姿勢	修理の考え方			(テスト5)		
		剥がしベラ作成					
18	指板知識・加工技術	指板理論					
		指板テンプレート作成					
		指板削り台作成					
		指板加工（ヴァイオリン）					
19	魂柱知識・整備技術	魂柱理論					
		魂柱道具調整・作成				5	
		魂柱合わせ					
		魂柱調整					
20	上ナット知識・加工技術	上ナット理論					
		上ナット道具調整					
		上ナット作成					
21	弓毛替え道具作成	弓毛替え治具作成					
		弓毛替え道具調整					
22	セットアップ集中授業	【休み期間集中授業】セットアップ（駒・魂柱・指板）関連					予習作業が通常授業中に適宜入ります

◆学校のある加美町は若手アーティスト（楽器製作者）の支援に積極的な施策方針を持っています。
町の支援のもと、《演奏家ー邦人楽器製作者を繋げるイベント企画》を継続的に実施します。

◆ヴァイオリン製作の町クレモナ（イタリア）ではヴァイオリン製作学校を中心とした技術者通しの協力体制が構築されています。
国立音楽院でも今後学校ブランドの楽器を企画～PRし、卒業生の製作分野での活躍の場をより増やす事を計画。

◆学生が、卒業後修理技術者として就職しても製作活動を続けることを支援するために、宮城キャンパス弦楽器工房を中心とした委託販売体制の構築を目指します。

◆在学中から工房製楽器の企画・製作に携われるようにし、製作楽器の販売に必要な技術以外の企画・広報の経験を養うための特別授業を行います。

【　講師製作ヴィオラ（2020）】

ヴィオラは設計の自由度が高く、製作者の個性が自由に実現できる楽器。
それゆえ演奏家は自身に合う楽器を探すのに苦労している面も。

オールド楽器で必ず良いものがあるわけでないため、プロの演奏家も新作の楽器を使用している事が多いのが特徴です。

国立音楽院宮城キャンパス
ヴィオラ製作工房プロジェクト

【2021年度企画】：第一線で活躍するプロヴィオリストの取材・協力を元にプロの求める楽器をヴァイオリン製作科全体で企画・製作し、2022年3月に製作楽器によるコンサートを実施します。

【 宮城キャンパス・弦楽器工房 】

◆　弦楽器工房を併設し、現場の作業を見て勉強できる事は宮城キャンパスの特徴の一つです。

また修理実習ための楽器寄贈をひろく募集し実習楽器も充実しています。

充実した作業環境

夏期・春期の休み期間も含めて作業室の自習利用は自由

工房では1人1卓作業台が与えられ、学生一人ひとりが自分専用の道具を使い製作にあたります。

朝から晩まで好きな時間に作業できるので、自分に合わせた学び方や技術の磨き方ができます。
ときには工房で学生同士でおしゃべりしたり、楽器を演奏したり、オンとオフを切り替えながら皆で切磋琢磨して技術を磨きます。

国立音楽院宮城キャンパスは自然に囲まれた広い環境の中、作業に没頭できる理想的な環境が整っています。

＜ 講師紹介 ＞

安冨成巳

新潟生まれ。幼少よりヴァイオリンを始める。新潟大学農学部に入学し、木材・森林等について学ぶ。また在学中、新潟大学管弦楽団に在籍。大学卒業後、弦楽器技術者を目指し、国立音楽院ヴァイオリン製作科に入学。木工および弦楽器技術の基礎について学ぶ。

同校卒業後、渡伊。クレモナのイタリア国立ヴァイオリン技術者養成学校（Scuola internazionale di liuteria cremona)の3年次に編入。4年次より楽器修復コースに進学。クレモナにて製作を A.Voltini、A.Sperzagaに、修理調整をA.VoltiniおよびC.Amighettiに、ニスをMassimo Ardoriに、弓の調整をE.Slavieroに、ニスリタッチ技術をAmdrea Ortona に学ぶ。約5年のイタリアにおける活動の後、帰国。

帰国後、山形市にて工房を独立開業。調整・修理などの仕事を行いながら製作活動に励む。室内楽やオーケストラなどの演奏活動にも積極的に参加。
特に演奏技術を活かした音調整、および ヴィオラ製作 に力を入れている。
2017年より国立音楽院ヴァイオリン製作科講師。関西弦楽器製作者協会会員。
2019年製作楽器を使用したコンサートで自ら演奏し、成功を収める。演奏を山形交響楽団コンサートマスター犬伏亜里氏に師事。

（※他、松下敏幸氏をはじめとする外部講師の方も定期的に来校し、セットアップ実習などを中心に実践的な特別授業を行ってもらっています。）

【講師（安冨）製作楽器】

【宮城キャンパス　2019年度　特別ワークショップ】

・松下敏幸先生・・・ヴァイオリン製作に関するワークショップ

・篠崎渡先生・・・工房経営に関するワークショップ

・山田聖先生・・・修理、石膏型取りに関するワークショップ
（宮城C修理コースに向けた特別授業）

《松下敏幸氏　プロフィール》

1979年より弦楽器製作・修理を志す。イタリア・クレモナに渡り弦楽器製作を学び、1987年クレモナにて工房を構える。1998年より国際クレモナ・ヴァイオリン製作学校、マスターコース最終学年に日本人初めてのマエストロ講師として招かれ生徒の指導にあたる。現在までにトリエンナーレ国際ヴァイオリン製作コンクール他で数多くの受賞歴をほこる。

- 講師に縁のあるイタリアで工房を構える技術者、帰国後国内で工房を構える技術者などによる専門ワークショップも開催。先に紹介したヴィオラ製作工房プロジェクトにもご協力頂いています。

■安心のサポート体制

【　パンションファミリア　】

所在地　：　加美郡加美町字大門222番地
交　通　：　JR陸羽東線「西古川」
　　最寄りバス停徒歩2分
建物構造：　軽量鉄骨造スレート葺2階建
徒歩3分：　ヨークベニマル　中新田店
徒歩5分：　薬王堂　宮城加美店
床面積：　22.5 ㎡
賃料：　1Ｆ￥30,000/月　2Ｆ￥32,000/月（共益費￥1,500/ 月）

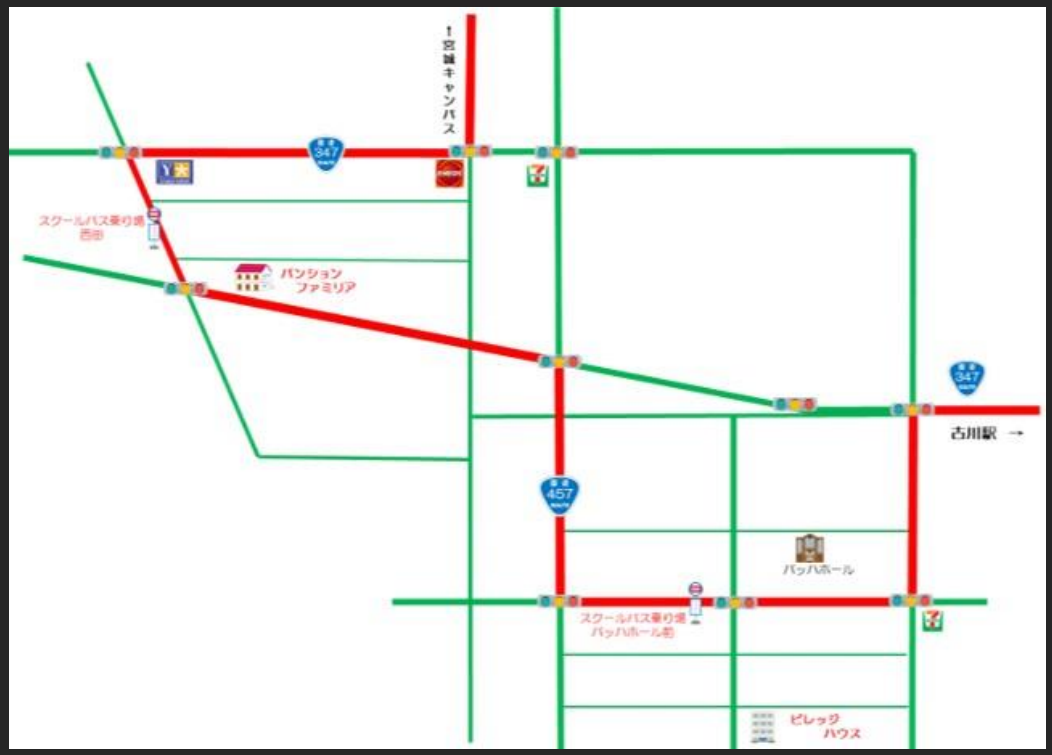
【　ヴィレッジハウス　】

所在地　：　加美郡加美町字一本杉426-2
交　通　：　JR陸羽東線「西古川」
　　最寄りバス停徒歩8分
建物構造：　鉄筋コンクリート（RC造）5階建
徒歩5分：セブンイレブン　加美バッハホール前店
徒歩7分：イオンスーパーセンター　加美店
床面積：　38.06 ㎡
賃料：　￥40,000　/　月

＜　宮城キャンパス・学生寮のご紹介　＞

❏町外から転入した学生に対して、【6万円/年】の家賃補助が町から支給されます。

スクールバスの運行



☑無料のスクールバス・地域バスが加美町・および新幹線古川駅～古川街中へ毎日授業に合わせて2～3回往復運航しており、交通費の負担はありません。

- 宮城キャンパスのある加美町は「世界農業遺産」として認定された秀峰薬莱や鳴瀬川の清流によってはぐくまれた緑豊かな町です。

- 町内にあるバッハホールは国内有数の音響を誇る室内楽ホール。1981年開館以来、「田園の中のクラシックホール」として注目を集め、地方からの文化発信の象徴的存在として全国的に知られています。

- 町は薬莱山の雄大な自然に臨み、毎年行われる「やくらい元旦登山」をはじめ、春には初午まつり「火伏せの虎舞」、夏には、「ドラゴンカヌー選手権大会」と、＜伝統＞と＜自然＞の中で人と人との交流が紡がれる、あたたかな町です。

- 薬莱山ふもとに位置する「やくらいリゾート」では、四季を通して花々が豊かに咲き乱れ、ローズガーデン・ふるるの丘など、さまざまなテーマガーデンを楽しむことができます。

加美町のご紹介

- 宮城キャンパスから毎日無料スクールバスが運行している古川は宮城県第3の都市。（新幹線停車駅）

- 自然と街並みが共存した都市として、住みやすい地域です。歴史のある大崎耕土は世界農業遺産にも認定されています。

- 古川のある大崎市では、国内でも有数の温泉地である《鳴子温泉郷》や、紅葉名所鳴子響があることでも知られています

- 仙台までのアクセスも良く住みやすい街となっています。

古川（大崎市）のご紹介

バッハホール管弦楽団や音楽フェスティバルに参加

・学校のある加美町には全国的に評価の高いバッハホールがあり、ホール運営の【バッハホール管弦楽団】があります。現在ヴァイオリン製作科で参加している生徒も数名います。

・加美町には「音楽フェスティバル」があり、アンサンブルでの参加も。ほか学校主催のクリスマスコンサートでも演奏します。今年度よりバッハホールでコンサートを開催します。

・当校ではバッハホールに併設する《バッハホール音楽院》のヴァイオリン演奏の専門講師が毎週弦楽アンサンブルの授業、ヴァイオリングループレッスン・個人レッスンを行っています。初心者の方でも安心して取り組めます。

・生徒の製作楽器によるコンサートも2019年に開催

当校で基礎を学んだ後、海外留学の選択肢も

学校を卒業後、海外留学の選択肢もあります。_（※勿論現在は国内のみで勉強しても良い技術者に育つ事が可能です）。

語学・生活の問題から、国内で技術を学習してから行った方が、確実に技術習得にスムーズに入れます。

（海外の学校例）

・イタリア　国立クレモナ弦楽器製作学校
　　ミラノ市立　弦楽器製作学校
　　パルマ　弦楽器製作学校
・イギリス　ニューアークヴァイオリン製作学校
・ドイツ　ミッテンヴァルト弦楽器製作学校
・アメリカ　シカゴヴァイオリン製作学校
　　ソルトレイクシティヴァイオリン製作学校

（宮城キャンパスではイタリア留学を目指す場合、講師による手続きなどのサポートをいたします）

宮城キャンパス・ヴァイオリン製作科
SNSページのご紹介

【HP】： https://kma-miyagi.com/subject/violin-making/

【FaceBook】： https://www.facebook.com/kmamiyagiviolin/

【Twitter】： https://twitter.com/kmamiyagiviolin

【Blog】： https://kmamiyagiv.exblog.jp/

【Instagram】： https://www.instagram.com/?hl=ja

「国立音楽院宮城キャンパス ヴァイオリン製作科」で検索。授業や作業風景などを随時更新。是非ご覧ください。